

1 すべての府民が図書館サービスを楽しむことができる環境の整備

目標：すべての府民が読書活動を通じて、文字・活字文化の恵沢を享受することができるよう、府民の“well-being”（身体的、精神的、社会的に良好ですべてが満たされた状態）を支えるサービスを展開し、府域図書館への情報提供、研修を実施することにより、広く環境整備が進むよう努めます。

（関連する基本方針：1・2・3・5）

1-1 だれもが読書に親しむことができるための環境づくりと支援サービスを実施します。

1-1-1 日本語を母語としない利用者に向け、さまざまな工夫を重ね、図書館が身近に感じられる環境を整えていきます。

具体的事業	自己評価 ＜令和8年度の成果と課題＞
○母語による資料を検索することなく、見つけることができるように、日本語以外の言語の資料リストを作成します。作成したリストをもとに展示等を実施します。また、府域図書館へ利用促進のため協力ポータルサイトで公開します。 ⇒多言語資料リストを作成します ⇒令和8年度実施 多言語資料の展示等 中央図書館 ・一般向け 年〇回 ・こども向け 年〇回 ○学校等団体が利用する特別貸出図書セットの新規作成および拡充をします。 ⇒令和8年度作成 特別貸出用図書セット 1セット ・〇〇語セット	

○「やさしいにほんご」でのホームページ作成、利用案内・掲示等をさらに促進していきます。 ⇒令和8年度作成 利用案内・掲示等 ・場所 内容 ○多言語によるおはなし会を開催します。 ⇒令和8年度開催 多言語によるおはなし会 ・内容 参加者数							
1－1－2 アクセシブルな書籍等を活用し、読書環境の充実に努めます。							
具体的事業		自己評価 <令和8年度の成果と課題>					
○デージー図書、テキストデータを作成し、NDL 視覚障害者等用データ送信サービスに対し、毎年 40 件以上のデータを提供します。			8 年度	9 年度	1 0 年度	1 1 年度	1 2 年度
		データ提供件数					
○読書バリアフリーを推進するサービス（以下、バリアフリーサービス）普及のため、障がいや病気、高齢などの理由で本が読めない、読みづらくなった人に自分に合った読書方法を見つけてもらう「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」イベントを継続して開催します。							
⇒見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界							
1－2 市町村立図書館向けに研修の実施と、情報提供をおこないます。							
○府域図書館職員、学校関係者等を対象とした研修を実施します。							
⇒児童サービス、バリアフリーサービスに関する司書セミナー等での研修を実施します。							

⇒学校と図書館との合同研修開催に合わせて「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界」を実施することにより、合同研修参加者へ効果的にバリアフリーサービスの関心を高めるよう努めます。	
<R8 総括>	
<R9 総括>	
<R10 総括>	
<R11 総括>	
<R12 総括>	

2 府立図書館蔵書の利活用の拡充 ～非来館型サービスの促進～

目標：府立図書館蔵書をより広く利活用していただけるよう、Web 上のコンテンツの充実など、図書館に来館しなくても利用できるサービスの促進に努めます。
(関連する基本方針：1・2・3・4)

2-1 「おおさか e コレクション」へのデジタルコンテンツ追加など、非来館サービスの拡充を図ります。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>					
○中之島図書館所蔵の古典籍資料等のデジタル化を推進するとともに、国文学研究資料館の「データ駆動による課題解決型人文学の創成～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～」(略称「国文研 DDH プロジェクト」)への協力をすすめます	国文研	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	データ提供件数					

○デジタル媒体で公開された行政資料を収集します。 ○国際児童文学館所蔵戦前期のこども向け雑誌のデジタルデータを「国立国会図書館未収かつ入手困難資料のデータ収集事業」へ提供します。	自館作成	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	デジタル 化データ 作成件数					
		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	おおさか e コレク ションア クセス数					
		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	データ収 集件数					
		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	データ提 供件数					
	<R8 総括>					
	<R9 総括>					
	<R10 総括>					
	<R11 総括>					
	<R12 総括>					

3 資料の保存と管理の検討

目標：蔵書の適正な管理を行い、府民が常に必要な情報や知識を的確に得られるよう、資料の保存と提供に努めます。
多種多様な所蔵資料を継承していくため、資料保存の検討を継続して実施します。さらに、令和6年度に完成した両館の新書庫の効果的な活用について検討します。（関連する基本方針：1・2・3・4）

3-1 書庫の有効活用を検討し実施します。

3-1-1 中央図書館の地下2階書庫完成を受け、資料の配置を整えていきます。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>					
○適切な書庫の配置計画を立案し、実施します。 中央図書館地下2階に新たに書庫を拡充したことにより、地下1階書庫の開館以来の配架状況、今後の資料増加に合わせた配架計画を整え、効率的な配置を行うことで、資料の適切な管理に努めます。		8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	書庫内の資料配置	○万冊	○万冊	○万冊	○万冊	

3-1-2 中之島図書館の新館書庫完成を受け、資料の配架計画を整えていきます。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>					
○書庫耐震改修工事完了により当面の収蔵能力が確定したことから、館内各書庫の配架状況、中之島図書館の収集方針、及び今後の資料増加に合わせた配架計画を整え、関係各所とも調整したうえで、資料の適切な保存と管理に努めます。						

3-2 マイクロフィルムの劣化対策（マイグレーション等）について情報収集、計画策定し、実行します。

具体的事業	自己評価 <令和8年度の成果と課題>					
○令和7年12月にマイクロフィルム受注が終わり、マイクロフィルム処理薬品も翌令和8年3月に受注終了となることがわかりました。新たなマイクロフィルム作成だけでなく、今後メンテナンスも含めて管理が難しくなるため、						

すでに所蔵しているマイクロフィルムのマイグレーション計画や劣化を遅らせる対策を検討し、実行します。 令和8年度 計画策定	
<R8 総括>	
<R9 総括>	
<R10 総括>	
<R11 総括>	
<R12 総括>	